

JTA737-800型機 機内USB電源の導入を開始！

～国内線機内Wi-Fiサービスをより快適にご利用いただけます～

2020年8月19日

第20040号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 青木紀将）は、2020年8月12日より、クラスJおよび普通席にUSB電源を装着したボーイング737-800型機の運航を開始しました。

ご好評をいただいている国内線機内Wi-Fiサービス開始以降、お客さまからの機内での充電に関するご要望をいただいております。かねてよりUSB電源の導入準備を進めておりましたが、この度、8月12日にUSB電源装着機1機（機体番号JA05RK）でのサービスを開始し、今後、JTAが運航する全ての航空機へ順次、USB電源装着を進めていく予定です。

JTAはお客さまに快適な空の旅をお過ごしいただけるよう、引き続き機内サービスの充実に取り組んでまいります。

■概要

1. 対象機材：ボーイング737-800型機
2. 導入時期：2020年8月12日より、1機（JA05RK）での運航開始を開始し、今後JTAが運航する全ての737-800型機へのUSB電源装着を進めてまいります。
3. 仕様
 - ・クラスJ：自席肘掛下（写真①）
 - ・普通席：前席の下方（写真②）
最前列・非常口座席では自席下に設置されています。
普通席3列座席では2箇所の設置となるため、隣席と共用となります。
 - ・USB端子：Type - A、Type - Cの2タイプをご利用いただけます。

① クラスJ



② 普通席（3列席）



※インターネット予約画面上でのUSB電源装着機の確認はできません。

以上